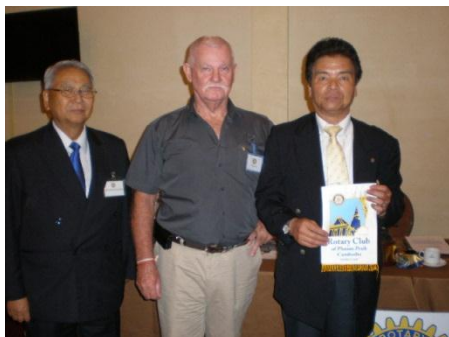


カンボジア教育支援プロジェクト

2010-11 年度に始まったこのプロジェクトの背景はポルポトの独裁政権の崩壊から始まります。崩壊前ポルポトはカンボジア国内の医者や教師といった知識層をすべて抹殺してしまいました。その為、崩壊後知識層は全滅し現在のカンボジアにおける教師のレベルはわずかに字が読める日本の小学生並みといわれています。本年は6月7日教育機材の贈呈式に17名で列席しました。現在、2750 地区の14クラブ（東京世田谷、東京品川、東京渋谷、**東京目黒**、東京世田谷南、東京成城新、東京自由が丘、東京昭島、東京昭島中央、東京武蔵国分寺、東京南、東京港南、東京中央、東京日本橋）が賛同し幹事クラブ（本年は東京品川）を持ち回りで行いマッチングgrantを活用し継続支援していく予定です。現地ではプノンペンRCが窓口となっています。



プノンペンRCへ17名でMU



殺戮が行われた収容所見学



感謝状を受け取る平井会員



贈呈された教育器材の一部



派遣している先生のお話し



プノンペンRCで知り合った Jeab Ponjaporn さん
タイの若い0-17歳です

★2013/6/7 チア・ルン教育省長官のスピーチはPDF